

我孫子市新廃棄物処理施設整備運営事業 審査講評

令和2年1月14日

我 孫 子 市

## 目 次

1	事業概要等.....	1
2	民間事業者の選定方法.....	2
3	選定委員会の設置.....	2
4	民間事業者の選定スケジュール.....	3
5	審査結果の概要.....	4
6	総評.....	14

## 1 事業概要等

### 1.1 事業名称

我孫子市新廃棄物処理施設整備運営事業

### 1.2 対象となる公共施設等の種類

一般廃棄物処理施設

### 1.3 事業目的

我孫子市新廃棄物処理施設整備運営事業は、本市における将来の安定的、かつ、安全なごみ処理体制の確立と新廃棄物処理施設整備詳細計画で掲げた「施設整備の基本方針」を具現化し、循環型社会を構築するためのエネルギー回収型廃棄物処理施設として整備し、適切な運営を行うことを目的とする。

### 1.4 事業概要

本事業は DBO 方式により実施する。

#### 1) 施設の立地条件

##### (1) 事業用地

我孫子市中峠 2264 番地及び 2274 番地

##### (2) 用地面積

事業用地：約 30,300 m<sup>2</sup>

工事用地：約 9,000 m<sup>2</sup>

#### 2) 施設概要

##### (1) 年間計画処理量

27,206 t /年

##### (2) 施設規模等

120t/日 (60 t /日×2 炉 24 時間連続稼働)

##### (3) 処理方式

ストーカ式焼却炉

##### (4) 供用開始

令和 5 年 4 月 1 日 予定

##### (5) 事業期間

事業期間は、次のとおりとする。

建設期間：契約締結（令和 2 年 2 月 予定）から令和 5 年 3 月末まで。ただし、ご

みの全量受入を令和5年3月27日(月)から行う。

運営期間：令和5年4月1日から令和25年3月31日までの20年間

## 2 民間事業者の選定方法

本事業を実施する民間事業者の選定に当たっては、競争性、公平性及び透明性を確保するため、設計・施工及び運営に関する技術、事業遂行能力等、並びに入札価格を総合的に評価し、最優秀提案者を選定する「総合評価一般競争入札」により実施した。

## 3 選定委員会の設置

本市は、民間事業者の選定に係る審査に当たり、専門的、技術的見地から提案内容を検討し評価する、我孫子市新廃棄物処理施設整備運営事業者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）を設置し、以下のとおり委員を選任した。

委員長	瀧 和夫	千葉工業大学 名誉教授
副委員長	濱田 雅巳	公益社団法人 全国都市清掃会議 技術部長
委員	中込 秀樹	(元) 千葉大学 工学部教授
委員	出口 浩	東京理科大学 理工学部教授
委員	野本 修	法律事務所所属 (弁護士)
委員	青木 章	我孫子市副市長
委員	古谷 靖	我孫子市建設部長
委員	伊藤 英昭	我孫子市都市部長

#### 4 民間事業者の選定スケジュール

選定委員会の開催状況及び審査結果の公表状況等民間事業者の選定スケジュールは、表 1 に示すとおりである。

表 1 民間事業者の選定スケジュール

スケジュール	内 容
平成 30 年 6 月 27 日	◆第 1 回選定委員会 委員長・副委員長選出、事業概要説明 等
平成 30 年 8 月 24 日	◆第 2 回選定委員会 入札方式、実施方針（案）、要求水準書（案）等の審議
平成 30 年 10 月 4 日	実施方針（案）、要求水準書（案）公表
平成 31 年 2 月 22 日	◆第 3 回選定委員会 特定事業の評価・選定（案）、募集要項、落札者決定基準等の審議
平成 31 年 3 月 12 日	実施方針公表
平成 31 年 3 月 29 日	特定事業の評価・選定公表
平成 31 年 3 月 29 日	◆第 4 回選定委員会 募集要項、非価格要素審査評価項目の審議等
平成 31 年 4 月 17 日	入札公告及び募集要項公表・配布
平成 31 年 4 月 26 日	参加資格審査に関する質問の受付締切
令和元年 5 月 15 日	参加資格審査に関する質問への回答公表
令和元年 5 月 29 日	参加表明書及び参加資格審査申請書類の締切
令和元年 6 月 7 日	参加資格審査結果の通知
令和元年 6 月 21 日	募集要項に関する質問締切
令和元年 7 月 10 日	募集要項に関する質問への回答公表
令和元年 7 月 24 日	提案概要書の受付締切
令和元年 7 月 31 日	概要ヒアリングの実施
令和元年 9 月 27 日	事業提案書の受付締切
令和元年 10 月 31 日	◆第 5 回選定委員会 技術（基礎）審査結果、非価格要素審査の実施方法、非価格要素の提案、非価格要素審査評価表の確認
令和元年 12 月 6 日	◆第 6 回選定委員会 事業提案書の審査
令和元年 12 月 17 日	落札者の決定及び公表
令和元年 12 月 17 日	基本協定の締結
令和 2 年 2 月上旬	仮契約の締結
令和 2 年 2 月中旬	建設工事請負契約の議決
令和 2 年 2 月中旬	特定事業契約の締結 （基本契約、建設工事請負契約、運営委託契約）

## 5 審査結果の概要

民間事業者の選定に係る審査は、第1段階における資格審査、第2段階における提案審査で構成する。なお、平成31年4月17日に入札公告を行った本事業では、2グループから参加表明書等が提出された。

表 2 参加表明者

	あおグループ	みどりグループ
代表企業	株式会社 神鋼環境ソリューション	日立造船株式会社 東京本社
構成員	神鋼環境メンテナンス株式会社	りんかい日産建設株式会社 千葉営業所 H i t z 環境サービス株式会社
協力企業	立沢建設株式会社 東日本ガス株式会社	上村建設工業株式会社 株式会社野田電機 株式会社市川環境エンジニアリング

### 5.1 資格審査

本市は、令和元年5月29日までに提出された参加表明書並びに参加資格審査申請書類について、入札説明書に示す参加資格要件を全て満たしていることを確認し、その結果を令和元年6月7日に各グループ代表企業に対し、入札参加資格を有することを書面にて通知した。

表 3 入札参加資格審査結果

	あおグループ	みどりグループ
1) 共通の参加資格要件	合格	合格
2) 設計・施工に関する資格要件	合格	合格
(1) 建築物の設計を行う企業	合格	合格
(2) 建築物の施工を行う企業	合格	合格
(3) プラントの設計・施工を行う企業	合格	合格
3) 本施設の運営を行う企業	合格	合格

## 5.2 技術審査

### 1) 基礎審査

令和元年9月27日を期限とし、あおグループ、みどりグループより提案書が提出された。

提出された提案書について、提出書類を確認するとともに、技術提案書が要求水準等を満足しているか、また事業計画書が事業として妥当性を有しているかについて審査を行った。

その結果、あおグループ、みどりグループは、本市が要求する水準を満足していた。

表 4 技術審査結果

	あおグループ	みどりグループ
1) 応募提案書類の審査	合格	合格
2) 基礎審査（技術提案書及び要求水準書、事業計画書及び入札書の適合性）	合格	合格

### 2) 提案審査

#### (1) 非価格要素審査

令和元年12月6日に、選定委員会において非価格要素提案書の審査を行った。

審査に当たり、提案書に関する入札参加者による説明（プレゼンテーション）及び提案内容に対する質疑（ヒアリング）を実施し審査を行った。

具体的には、入札参加者から提出された非価格要素提案書を基に、表5に示す20項目について、表6に示すA～Eの5段階評価を行い点数化した。

表 5 評価項目、評価ポイント及び配点

審査項目			評価ポイント	配点
大項目	中項目	小項目		
1. 安定稼働が可能な施設	(1) 事業実施体制	① 業務の実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 設計・建設・運営の各段階において、経験者及び有資格者が適切に配置されているか。</li> <li>➤ 人材育成及び教育訓練を考慮した人員管理体制となっているか。</li> <li>➤ リサイクルセンターとの連携に関する提案は有効か。</li> </ul>	3
		② 事業の実施、バックアップ、サービス体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 応募者を構成する構成員、協力企業の設計・建設・運営段階における役割分担と責任分担（SPCの出資構成等）、バックアップ、サービス体制は適切か。</li> </ul>	3
		③ 事業者によるセルフモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 設計・建設・運営の各段階において、要求水準書等の内容を遵守しているかを応募者自らが確認、改善でき、かつ本市がチェックできる体制及び手法の工夫は効果的かつ適切か。</li> </ul>	3
	(2) 安全・安定処理	① ごみの搬入管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 安全かつ円滑な搬入のための車両の誘導方法は効果的か。</li> <li>➤ プラットホームにおける受入供給設備、待車、貯留、移送、投入作業等の配置動線計画に対し、安全性、作業性及び合理性はあるか。</li> <li>➤ 危険物及び処理不適物の搬入防止のための搬入管理方法は効果的か。</li> </ul>	3
			② 施設の運転計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ごみの安定処理を行うための運転計画（2炉運転、1炉運転、全炉停止期間）は適切かつ効果的であるか。</li> <li>➤ ごみ量低下時、増加時の設備上、運転管理上の工夫は有効か。</li> <li>➤ ごみ質変動への対応性能（性能曲線等）は妥当か。</li> </ul>
		③ 安全な動線計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 施設全体及び施設内の配置計画や動線計画（搬出入動線、見学者動線等）が搬入車両や見学者に対する安全性の確保や利便性の向上に対し有効か。</li> <li>➤ 搬入から退出まで、既設粗大ごみ処理施設等、リサイクルセンター（2025年度竣工予定）の動線を考慮した配置計画となっているか。</li> </ul>	4
		④ 事故・トラブルの未然防止対策、事後対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ トラブル発生時に迅速に復旧できるプラントシステムとなっているか。</li> <li>➤ 事故トラブルの具体例（設備の故障、人災）に対する未然防止対応策及び事後対策は有効か。</li> <li>➤ 労働災害防止のための作業環境保全対策、管理体制は効果的か。</li> </ul>	4
		⑤ 事業の安定性を図るためのリスク管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 開業費や損益計算書、キャッシュフロー等の事業収支計画、不測の事態が生じた場合の資金確保方策は妥当か。</li> <li>➤ リスクアセスメント全般に係るリスクの抽出、評価、対策及び監視等の考え方並び</li> </ul>	4

審査項目			評価ポイント	配点
大項目	中項目	小項目		
			に実施方法、加入する保険と内容は有効か。	
	(3) 長期稼働	① 長期使用可能な施設のための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 本施設で 35 年間以上安定して処理するための機器配置、機器搬入動線、点検動線、消耗品の交換頻度等、メンテナンス性が高い施設か。</li> <li>▶ 施設を 35 年間使用するための長寿命化計画の策定の考え方、設備上及び維持管理上の工夫（主要機器の耐用年数、点検・補修・更新計画等）は有効か。</li> </ul>	4
		② 運営期間終了時の引継ぎ方法等の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 引継ぎの方法（運営終了前の運転指導の方法等）は有効か。</li> <li>▶ 引渡前の施設管理データ等の引継ぎ内容・方法は有効か。</li> </ul>	4
	(4) 工事計画	① 安全かつ円滑な工事実施のための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 品質管理、安全管理を重視した施工計画・現場管理体制のための提案は有効か。</li> <li>▶ 工事中の各種車両や作業員、来場者等への安全確保のための工事動線、工事管理方法、その他安全対策は有効か。</li> <li>▶ 敷地内で稼働中の施設に対して、工事中、設備上、運営上の配慮策及び連携方法は有効か。</li> </ul>	8
2. 環境負荷の少なく、周辺環境と調和する施設		① 公害防止対策（排ガス、騒音、振動、低周波音、悪臭）	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 施設稼働に伴う公害防止対策は妥当か。</li> <li>▶ 市で定める公害防止基準（施設停止基準）の他、要監視基準、運転管理基準等の設定は妥当か。</li> <li>▶ 法改正等に伴う新たな規制に対する市への支援の考え方、方法は妥当か。</li> </ul>	5
		② 周辺施設への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 隣接する施設や周辺施設及びその利用者に対する工事中及び施設共用時の生活環境や地下水、景観等の影響を低減するための方策、監視基準、セルフモニタリングは有効か。</li> <li>▶ 建物や煙突は、過度にならない形状及び色彩で、圧迫感を緩和したデザインか。</li> <li>▶ 屋外緑化計画は、周辺からの景観に配慮した計画となっているか。</li> </ul>	4
		③ 温室効果ガス排出量低減対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 施設稼働に伴う温室効果ガス排出量の低減が十分図られているか。また、削減のための対策は妥当か。</li> </ul>	10
3. 市民に信頼される開かれた施設		① 情報公開に関する方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 情報の管理方法、報告方法、公開方法は有効か。</li> <li>▶ 事業者による「環境モニタリングの実施方法」、「結果の開示方法に対する工夫」、「市が市民に対して行う環境モニタリングの報告に対する支援方法」等の対策が効果的か。</li> </ul>	3
		② 環境学習方策への工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 見学者の年齢や立場、知識レベル、目的、啓発設備の経年的な陳腐化を考慮した提案か。</li> <li>▶ 見学者動線は安全か。また、ごみ処理の順序を追って見学できる等効果的な見学ルートか。</li> </ul>	6

審査項目			評価ポイント	配点
大項目	中項目	小項目		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ リサイクルセンターを見学するための見学者動線（本施設からリサイクルセンターへの移動）は安全を考慮された動線か。また、リサイクルセンターの普及啓発機能との連携策は効果的か。</li> </ul>	
		③地域への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 地元企業への発注金額や市民雇用人数及びその内容はどの程度か。</li> <li>➤ 地元地域への貢献策は有効か。</li> </ul>	9
4. 災害に強い施設		①水害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 施設内浸水時の早期復旧のための設備上、運営上の工夫について、施設の強じん化、用役管理、従業員や来場者の安全確保、バックアップ体制（親会社のバックアップ、部品等の調達、他事業者の連携等）は有効か。</li> <li>➤ 焼却残渣、ごみの流出を防ぐための設備上の工夫は有効か。</li> </ul>	9
		②非常時における二次災害防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 緊急時（地震、水害等）の二次災害防止策（地震による火災、爆発等）は妥当か。</li> <li>➤ 緊急時指揮命令系統・連絡体制、訓練体制は妥当か。</li> </ul>	5
		③災害廃棄物受入・処理のための方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 災害廃棄物の受入・処理条件は妥当か。</li> <li>➤ 災害廃棄物受入・処理のための市への協力内容や受入・処理のための設備上の工夫は有効か。</li> </ul>	5

表 6 評価、評価内容及び採点の算出方法

評価	評価内容	採点の算出方法
A	特に優れている	配点 × 100%
B	AとCの間	配点 × 75%
C	優れている	配点 × 50%
D	CとEの間	配点 × 25%
E	要求水準を満たす程度	配点 × 0%

$$\text{非価格要素点審査点} = \frac{\text{獲得点数}}{100 \text{ 点}} \times 50 \text{ 点}$$

表 7 非価格要素審査結果

評価項目		配点	非価格要素審査点	
			あおグループ	みどりグループ
1. 安定稼働が可能な施設		44	<b>28.14</b>	<b>31.23</b>
(1) 事業 実施体制	① 業務の実施体制	3	1.78	1.88
	② 事業の実施、バックアップ、サービス体制	3	1.97	1.97
	③ 事業者によるセルフモニタリング	3	1.97	2.06
(2) 安全・ 安定処理	① ごみの搬入管理	3	2.16	2.06
	② 施設の運転計画	4	2.50	3.00
	③ 安全な動線計画	4	2.50	3.00
	④ 事故・トラブルの未然防止対策、事後対策	4	2.38	2.88
	⑤ 事業の安定性を図るためのリスク管理	4	2.50	3.13
(3) 長期稼働	① 長期使用可能な施設のための工夫	4	2.75	3.00
	② 運営期間終了時の引継ぎ方法等の工夫	4	2.63	2.75
(4) 工事計画	① 安全かつ円滑な工事实施のための工夫	8	5.00	5.50
2. 環境負荷の少なく、周辺環境と調和する施設		19	<b>11.65</b>	<b>14.78</b>
	① 公害防止対策 (排ガス、騒音、振動、低周波音、悪臭)	5	3.59	3.28
	② 周辺施設への配慮	4	2.75	2.75
	③ 温室効果ガス排出量低減対策	10	5.31	8.75
3. 市民に信頼される開かれた施設		18	<b>11.35</b>	<b>12.56</b>
	① 情報公開に関する方法	3	1.59	1.78
	② 環境学習方策への工夫	6	4.13	3.75
	③ 地域への貢献	9	5.63	7.03
4. 災害に強い施設		19	<b>11.59</b>	<b>14.75</b>
	① 水害対策	9	5.34	7.88
	② 非常時における二次災害防止策	5	2.81	3.59
	③ 災害廃棄物受入・処理のための方策	5	3.44	3.28
合計		100	<b>62.73</b>	<b>73.32</b>
合計(50点に換算)		50	<b>31.37</b>	<b>36.66</b>

表 8 評価項目に対する講評

審査項目			講評
大項目	中項目	小項目	
1. 安定稼働が可能な施設	(1) 事業実施体制	①業務の実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>両グループともに設計・建設・運営各段階において適切な有資格者が配置され、適切な実施体制である。</li> <li>みどりグループは、運転員のキャリアに応じ教育システムの工夫がなされていた点が評価される。</li> </ul>
		②事業の実施、バックアップ、サービス体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>両グループともに設計・建設・運営各段階において役割分担が明確化されているとともに、不測の事態が生じた場合のバックアップ体制ならびに、代表企業のサービス体制のもと、迅速な対応が期待される。</li> </ul>
		③事業者によるセルフモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>両グループともに適切なセルフモニタリング体制である。また、第三者機関を活用した効果的なモニタリングが期待できる。</li> </ul>
	(2) 安全・安定処理	①ごみの搬入管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>両グループともに場内の適切な誘導方法が提案されている。</li> <li>あおグループは、搬入車両の運行スペースを広く確保している点が評価される。</li> </ul>
		②施設の運転計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>両グループともにごみピット残量ならびに、メンテナンス期間を考慮した、余裕を持った運転計画が立案されている。</li> <li>みどりグループは、安定処理が可能なごみ質範囲の広い点が評価される。</li> </ul>
		③安全な動線計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>両グループともにリサイクルセンターの稼働を考慮した動線計画が提案されている。</li> <li>みどりグループは、動線の交錯が少ない点が評価される。</li> </ul>
		④事故・トラブルの未然防止対策、事後対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>両グループともに過去のトラブル事例を踏まえた防止対策、事後対策が計画されている。</li> <li>みどりグループは、機器及び監視体制に対する工夫が評価される。</li> </ul>
		⑤事業の安定性を図るためのリスク管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>両グループともに適切なキャッシュフロー収支が計画されているとともに、リスクを踏まえ、適切な保険に加入している。</li> <li>みどりグループは潤沢な内部留保金を確保するとともに、リスクの認識とその対応策について工夫がなされていた点が評価される。</li> </ul>

審査項目			講評
大項目	中項目	小項目	
	(3) 長期稼働	① 長期使用可能な施設のための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両グループともにメンテナンス性を考慮した機器配置、スペースを確保している。</li> <li>・みどりグループは、豊富な実績に基づくセルフモニタリングによる高水準の維持管理が期待される。</li> </ul>
		② 運営期間終了時の引継ぎ方法等の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両グループともに運営終了前に設置する引継ぎチームによるスムーズな引継ぎ、引継ぎ後のサポートが計画されている。</li> </ul>
	(4) 工事計画	① 安全かつ円滑な工事実施のための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両グループともに工種に応じた管理体制が組み立てられており、安全かつ品質が高い工事管理が期待される。</li> <li>・みどりグループは、工程短縮のための提案、工事中の安全対策が評価される。</li> </ul>
2. 環境負荷の少なく、周辺環境と調和する施設		① 公害防止対策（排ガス、騒音、振動、低周波音、悪臭）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両グループともに公害防止基準遵守のため適切な対策を講じている。</li> <li>・あおグループは、基準値の上乗せや測定回数増加の増加提案が評価される。</li> </ul>
		② 周辺施設への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両グループともに工事期間中に的確なモニタリングを実施する提案がなされている。</li> <li>・両グループともに周辺施設、景観に配慮した提案がなされている。</li> </ul>
		③ 温室効果ガス排出量低減対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両グループともに効率的な運転計画立案、省電力化が行われ、大幅な温室効果ガス低減が期待される。</li> <li>・みどりグループは、CO<sub>2</sub> 排出量削減と売電電力量増大に寄与する提案が評価される。</li> </ul>
3. 市民に信頼される開かれた施設		① 情報公開に関する方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両グループともに正確な情報管理・報告、公開手段が提案されている。</li> <li>・みどりグループは、市の情報管理、情報公開に関する支援に資する提案が評価される。</li> </ul>
		② 環境学習方策への工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両グループともに設備ならびに展示の陳腐化を防ぐための更新計画が立案されており、来場者の安全確保のための対策が取られている。</li> <li>・あおグループは、最新技術を活用した見学機能、見学者ターゲット層の広い提案が評価される。</li> </ul>
		③ 地域への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両グループともに地元への多くの発注が期待できるとともに地元イベントへの協力等が提案されている。</li> <li>・みどりグループは、地元ネットワークを活用し、地元発注のさらなる拡大に資する提案が評価される。</li> </ul>

審査項目			講評
大項目	中項目	小項目	
4. 災害に強い施設		①水害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>両グループともに災害時の運営上、設計上の予防対策、バックアップ体制が提案されている。</li> <li>みどりグループは、より安全性の高い水害対策が提案された点が評価される。</li> </ul>
		②非常時における二次災害防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>両グループともに非常時の緊急停止方法が複数提案されており、二次災害防止に効果的な提案がなされている。</li> <li>みどりグループは、効果的な防災対策を提案している点が評価される。</li> </ul>
		③災害廃棄物受入・処理のための方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>両グループともに東日本大震災で仮設焼却炉として実績がある炉形式である。</li> <li>あおグループは、関連企業との協力による効果的な市への支援が期待される。</li> </ul>

## (2) 価格審査

入札参加者の立会いのもと、令和元年12月6日に開札を行い、入札価格が予定価格の範囲内であることを確認した。

選定委員会では、開札結果の報告を受け、以下に示す方法により、入札価格の点数化を行った。

価格審査点結果を表9に示す。

$$\text{価格審査点} = \frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}} \times 50 \text{ 点}$$

表9 価格審査点結果（消費税を含まない）

項目	あおグループ	みどりグループ	予定価格 (低入札価格調査基準価格)
施設整備費	10,868,716,000 円	10,600,000,000 円	14,360,000,000 円 (11,488,000,000 円)
運営費	5,810,009,000 円	7,200,000,000 円	10,210,000,000 円 (8,168,000,000 円)
合計	16,678,725,000 円	17,800,000,000 円	24,570,000,000 円
価格審査点	50.00	46.85	—

### (3) 総合評価

(1)の非価格要素審査点と、(2)の価格審査点を加えて、以下の方法により表 10 のとおり、総合評価点を算出した。

$$\text{総合評価点} = \text{非価格要素審査点} + \text{価格審査点}$$

表 10 総合評価点結果

項目	あおグループ	みどりグループ
非価格要素点	31.37 点	36.66 点
価格審査点	50.00 点	46.85 点
総合評価点	81.37 点	83.51 点

### 5.3 最優秀提案者の選定

選定委員会は、総合評価の結果に基づき、日立造船株式会社 東京本社を代表企業とするみどりグループを最優秀提案者として選定した。

なお、最優秀提案者は、低入札価格調査基準価格を下回っていたことから、我孫子市新廃棄物処理施設整備運営低入札価格調査実施要領第 9 条に基づき、市において調査を実施することとし、事業者の業務の履行状況や実績等を調査した。

その結果、入札価格による契約の履行が適正になされると認められた。

## 6 総評

本事業では、2 グループの入札参加者から提案を受け、いずれの提案も技術面、価格面において民間事業者の創意工夫やノウハウが盛り込まれた提案であった。

選定委員会は、新廃棄物処理施設整備運営事業において、厳正なる審査の結果、みどりグループ(代表企業:日立造船株式会社 東京本社)を最優秀提案者として選定した。

最優秀提案者の提案は、提案内容に具体性があり、費用対効果が高く、本事業に対する取組み姿勢に対しても高い評価であった。特に温室効果ガス排出量削減対策においては、削減効果の高い提案がなされていた点、水害への対策として、市の実情を踏まえ、施設の強靱化ならびにごみや焼却灰等の流出防止対策が提案されている点、地域に信頼された施設となることが期待されるよう、地元企業への発注金額に加え、地元ネットワークを活用し、地元発注のさらなる拡大に資する点を評価した。

本事業は、我孫子市のごみ処理事業において基幹となる事業であり、設計・施工から運営まで、地元住民に配慮した安心、安全な業務を実施するとともに、安定的かつ公共サービスの向上に寄与する施設となるよう努める必要がある。

今後、我孫子市と日立造船株式会社 東京本社を代表とするみどりグループは対等かつ良好なパートナーシップを構築し、公共事業の一環として事業目的の達成に向けて協働して取り組むとともに、次の点に留意して本事業を進められたい。

- ・ 設計・建設及び運営期間を通して、要求水準事項及び提案事項の実現に向けて、誠意をもって取り組むこと。
- ・ 本事業は長期間にわたるため、我孫子市民、とりわけ建設地周辺の住民との信頼関係の構築に向けて、誠意をもって情報提供等に努めること。
- ・ 常に最新の技術動向を意識し、施設整備や運営・維持管理に努めること。
- ・ 建設期間中は、既存施設の安定稼働の確保に努めるとともに、安全かつ円滑な工事の遂行を図ること。
- ・ 運営・維持管理業務期間全体を通じて、処理対象物の安定処理、提案のエネルギー回収率の達成、ならびに余剰電力確保による温室効果ガス排出量の低減に努めること。
- ・ 今後整備されるリサイクルセンターの建設・稼働において、新廃棄物処理施設との有機的な連携を図り、我孫子市のごみ処理が安全、安心で安定したものとなるよう配慮すること。

令和2年1月14日

我孫子市新廃棄物処理施設整備運営事業者選定委員会  
委員長 瀧 和夫